

れいめい

社会福祉法人三山黎明会 〒371-0056 前橋市青柳町 983-1

まほろ TEL027-233-2561 / FAX027-233-2560

らいず TEL027-260-1900 / FAX027-233-2588

サニーマーケット TEL027-212-8301 / FAX027-212-8302

アペリア TEL027-219-1133 / FAX027-233-2588

ホームソレイユ/ホームあおぞら TEL027-260-1900(らいず内)

第29回れいめい祭を振り返って

令和7年度れいめい祭実行委員 まほろ支援員 福本映之

コロナウイルス感染症の大流行により4年間開催が出来なかったれいめい祭ですが、昨年に引き続き今年も無事開催する事が出来ました。今回で29回という歴史のある当法人の一大イベントとなっています。私個人としては入職してから2度目の経験となりました。去年初めてのれいめい祭では、普段の業務から少し変わった新鮮な体験をすることが出来ました。模擬店で買い物をしたり、保護者の方とお話をしたりと参加者として大いに楽しませていただきました。今年はまほろが主担当だったこともあり、責任を感じるれいめい祭になりました。

当日は昨年に好評だった、チュロス、フランクフルト、焼きそばの模擬店をはじめ、花・野菜の販売、さらにはキッチンカー3台とプリン販売のケータリングなど販売面が大きく賑わっていました。ステージでは藤岡琉球太鼓さんによる迫力のパフォーマンスを皮切りに青柳町八木節、アコーディオンサークル、詩吟、日本舞踊などバラエティ豊かな発表にご観覧の方々は盛り上がっていました。各施設の発表も工夫を凝らし利用者さんの生き生きとした姿を見ることが出来ました。天候の不安がありましたが、雨にも降られず、逆に例年の暑さにも悩まされずお祭り日和の天気でした。皆様のご協力もいただき、大きな混乱もなく大盛況に終わる事が出来、実行委員としてホッとしています。

昨年は保護者の方や、他の施設の職員との交流に気を取られていましたが、今年はさらに地域の皆様との交流が印象に残っています。来賓の方々をはじめ、来場者の皆様、出演団体の皆様、備品の貸し出しや販売品の提供などをしてくださる青柳自治体や各お取引先様など、たくさんの人に支えられてこのお祭りが開催できる事、法人が運営できることを実感し、心強く感じました。

最後になりますが、改めてご協力いただきました皆様のご協力により素晴らしいれいめい祭になりました。ありがとうございました。



～下請け事業部バーベキュー行事の報告～

まほろ支援員 高平 直明

まほろ下請け事業部は、7月25日金曜日に赤城ふれあいの森へバーベキューを楽しみに出かけてきました。まほろでは毎年夏の恒例行事となっているバーベキューですが、コロナウイルス流行中は開催できず、コロナが落ち着いたのが今回の2回目のバーベキューでした。メンバーの皆さんも楽しみにしており、赤城に行く1週間前から常に話題の中心でした。

当日は前橋の気温が39度と暑い日でした。赤城へ向かうバスのラジオから高校野球中継が流れ、トウモロコシ畑横を走って行くと「夏!!」という感じでした。

会場に着くと気温は30度ほどで、職場のある青柳町より涼しく感じました。バーベキュー前にみんなで手を洗うと、赤城の水道水はビックリするほど冷たくて気持ち良かったです。火起こしも皆で行いましたが、なかなか着火できず、どのグループも必死にうちわを扇いでがんばりました。

バーベキューでは、キャベツ、玉ねぎ、にんじん、もやしなどの野菜と豚モモ肉、そして焼きそばを焼いて調理しました。普段の給食で野菜をあまり食べない人もバーベキューだと野菜を沢山食べることができました。焼肉も人気でしたが、やはりメインは焼きそばで、各グループで特色を出して調理し、とても美味しく出来上がりました。後片付けも皆で協力して行い、集合写真を撮り、帰路につきました。昨年の反省から、食材の量を増やしたので、今回は皆お腹いっぱいになったようで、帰りのバス車内では居眠りされてる方も多く見られました。

帰ってから、「楽しかった!」「また来年も行きたい!」などの声がたくさん聞こえてきました。また仕事をガンバって、次回も楽しく開催できるといいですね。



～ホームソレイユでの過ごし方～

らいず支援員 五十嵐 洋介

現在、三山黎明会が運営するホームソレイユでは、らいず・まほろを利用する利用者が3名・世話人1名・夜間支援員が1名で対応しています。

ホームでは共同生活となるので、他者との関係づくりが大切なキーワードとなりますが、なるべく落ち着いてその人らしく過ごしていただけるよう配慮しながら支援にあたっています。利用者の好みも様々です。料理番組や食べ歩き番組を見ながら好きな食べ物を教えてくれたり、支援者と一緒に折り紙などする時間を楽しみにしていたり、おしゃべりすることが大好きな方もいます。思いや感じ方は皆それぞれ違いはあると思いますが、毎日元気に自分らしく生活を送って欲しいと願っています。具体的には、支援者の役割として、出来ない部分は補いながら、出来る部分は伸ばしていけるようコミュニケーションを大切にしながら安全や健康面にも注視し支援を実施することです。

苦手なことも個々で違うので、どのような時にどのような方法でアプローチするのか、支援会議などで話し合いを行います。ソレイユは世話人を除き各施設の職員が順番で支援を行っているので、尚更、他職員との情報共有が大切になってきます。

仕事に従事するときに「知らなかった」とならないように、責任感をもってこれからも利用者の方がその人らしくソレイユで元気に過ごしていけるように頑張っていきたいと思っています。



～軽運動で新しい取り組み～

らいず支援員 小林 香織

らいずでは日々の健康づくりとリラックスを目的に今年度よりヨガの要素を取り入れたストレッチ運動に取り組んでいます。ヒーリング音楽を流しながら無理のない動きを中心にゆったりとした雰囲気の中で行っています。活動中は個々の体調やペースに配慮し、安心して参加できるよう支援しています。

最初の頃はマットに足を伸ばして座るのに横になってしまう方や正座の方が見られました。又、仰向けになるのが難しい方がいましたが、回を重ねる事にポーズや動きも慣れ、落ち着いた様子で参加される方が増えてきました。中には活動を楽しみにしている利用者もいます。

エアロビやミュージックケアとはまた違った軽運動として、今後も心と体の健康を大切にしながら、楽しんで取り組める運動の時間を提供していきたいと思います。



～はじめての電車体験！～

サニーズマーケット保育士 大澤 江里

放課後等デイサービスに5回目の夏がやってきました。現在放デイは春に小学一年生が加わり、小学一年生から中学一年生までの10名が日々活動しています。長期休みは午前中は室内で過ごし、午後はお出かけをするというのがパターンとなっており、平日の放課後では行けない水上水紀行館や自然史博物館が毎年の恒例になっています。

今年は初の試みとして電車体験を行いました。前橋駅から電車に乗り、高崎駅でおやつを買って帰ってくるというものです。週末に行いましたが週の初めから「行きたくないなぁ」という声がぼつぼつと聞こえ、週間予定を難しい顔をして眺めている子どもの姿を何度か目にしました。電車に乗ったことがない子もある子も、サニーズでも初めての活動に不安や緊張を抱えている様子でどうなる事かと心配しましたがその日はあっという間にやってきてしまいました。明らかに口数が減り、表情の硬い子どもたち…。券売機で切符を買う。無くさないようにしっかり持つ。切符を改札に通して再度取る。ひとつひとつのプロセスを踏むたびに表情が柔らかいものになっていくのを横で見えて感じました。

高崎駅では人の多さに圧倒されて思うように動けず窮屈そうでしたが、王様のお菓子ランドに着くと様子が一变。お菓子の豊富さにお店の中を何度も行き来して悩む子や即決でいつも買っているものを選ぶ子と、好きなものを前にして普段のお買い物と変わらない姿がありました。帰りの電車も行きと同様に自分で切符を購入し改札を通りました。買ったお菓子を大事に抱えて静かに電車に揺られていました。

前橋駅に帰ってきた頃には暑さと緊張で疲れた顔をしていましたが、お菓子を食べ終わる頃にはいつもの元気な子どもたちでした。

夏休みのとある1日の出来事でしたが、チャレンジできた経験が今後の自信に繋がる一歩になったことと思います。



相談支援事業所アベリアはサービス等利用計画やモニタリング報告書の作成、本人の希望や要望、家族の意向確認、ニーズに応じた地域の資源の情報提供、各機関との連絡調整などを行っています。書類を作成するまでには本人を中心に家族、多職種・関係者と連携を図り担当者会議等を行いながら支援の組み立てを行っています。



今回は計画相談を通して楽しい業務について紹介します。業務として市町村への問い合わせ、書類提出で行政への窓口訪問、学校訪問、入院や退院に向けて病院との調整、各事業所に見学やモニタリングで伺うことがあります。その際に行政や学校の先生、病院のケースワーカーと話をしたり、他事業所の作業風景や活動内容、支援員の関わり方、利用者の表情を見たり聞いたりすることがあります。そのなかで新しい地域の資源の発見、新しい人脈のつながり、支援のアプローチ方法など他機関、他事業所との情報共有ができることは相談員にとって楽しい業務になっています。また、1年前のモニタリング報告書を見返した時に「休まずに学校に通えるようになった」「新しい活動に取り組めるようになった」「絵が上手になった」など記録から成長を見つけられることも楽しみの一つになっています。記録を見返すと出来ないことへの課題が並んでしまうことが多いですが、その陰には必ず、昨日できなかったことが今日できた瞬間があるので小さな出来たを確認し、各機関と共有していくことも大切にしていきたいです。引き続き他施設との連携、関係作り、他の相談支援専門員と情報交換の場を作り誰かと同じ方向をみながら相談業務に携わっていきますのでよろしくお願いします。

令和6年度事業報告（法人）

1. 役員会等

日 付	項 目	内 容
R6.5.21	監事による監査	・令和6年度会計及び施設運営状況等について
R6.5.28	第1回理事会	・R5年度事業報告及び決算報告等について ・次回評議員会招集項目等について ・その他
R6.6.18	第1回評議員会	・R5年度決算報告及び財産目録の承認について ・定款変更について ・その他
R6.7.10	第2回理事会	・土地取得について
R7.3.25	第3回理事会	・R6年度第一次補正予算について ・R7年度事業計画及び当初予算について ・その他

2. 人材育成及び人材確保 人事考課制度の運用、各種研修会の開催、処遇改善事業の推進

3. 社会貢献事業 実習生の受け入れ、ふくし総合相談支援事業への参画、他機関との連携・協働

4. 情報公開 WAM-NETにて財務状況等公開、広報誌及びホームページの活用等

5. 委員会活動 感染予防委員会、虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会等の推進

社会福祉法人三山黎明会ホームページのご案内（法人情報を公開しています）

法人の詳しい事業内容等がご覧になれます → → → <http://www.mireimei.or.jp/>